

# 会館だより

2012年 6月号 第276号



公益財団法人 日中友好会館

## 「会館だより」6月号の内容

### お知らせ

- ・役員選任に関するお知らせ

### 行事案内

#### 《日中友好会館美術館》

- ・古今を刺繍する中国風  
—蘇州刺繍伝人濮恵菊作品展

#### 《日中友好後楽会》

- ・中国旅行
- ・6月談話会

### 活動記録

- ・4月談話会
- ・小田原ホームステイ
- ・21世紀東アジア青少年大交流計画  
(日中21世紀交流事業)  
第4回諮問委員会を開催

### ご挨拶

- ・村上立躬前理事長退任挨拶
- ・武田勝年新理事長就任挨拶

### 会館行事と人の動き

#### 表紙

『戯劇人物画』 作：朱振庚  
(水墨画 2003年 58×36 cm)

## お知らせ

### ◆ 役員選任に関するお知らせ

日中友好会館は平成24年4月1日より「公益財団法人日中友好会館」として、新たな一步を踏み出すこととなりました。平成24年4月23日開催の評議員会および5月11日の理事会にて新役員を選任しましたので、お知らせいたします。

なお、評議員の齋藤勁氏の辞任に伴い、平成24年4月23日開催の評議員会にて、海江田万里氏（衆議院議員、民主党、元経済産業大臣）が後任評議員に選任されました。

### ◇ 公益財団法人日中友好会館 役員名簿

役職	氏名	現職等
会長	江田 五月	参議院議員、元参議院議長
副会長	宮本 雄二	宮本アジア研究所代表、前中国大使
副会長	劉 智剛	元大阪総領事、元当会館中国代表常任理事
理事長	武田 勝年	元三菱商事中国総代表、前当会館常務理事
理事	王 昆	当会館中国代表常任理事、元長崎総領事
理事	片寄 浩紀	日本国際貿易促進協会相談役
理事	小池 敏明	日中学院学院長
理事	張 瓏庭	東華教育文化財団業務執行理事
理事	西堀 正司	日中友好協会常務理事
理事	廖 雅彦	東京華僑総会会長
監事	青山 揚一	法律事務所代表弁護士

(順不同・敬称略)

## 行事案内

### 日中友好会館美術館

- ◆ 古今を刺繍する中国風  
—蘇州刺繍伝人濮恵菊作品展

会期：6月1日(金)～6日(水)  
時間：10時～17時(最終日15時まで)  
主催：北京国誼国礼文化センター、  
蘇州市沈寿刺繍芸術研究センター  
入場料：無料

本展示は中国近代刺繍芸術家沈寿の四代目の伝承者である濮恵菊による作品約50点を展示します。特に独創作品の「洗墨繡」は国際一等賞を獲得したことがあります。日中国交正常化40周年という記念すべき年に、日中友好会館において作品展を開催できますことは大変光栄であります。多くの皆様のご来臨をお待ちしています。

【お問合せ】古今を刺繍する中国風展  
東京事務局  
電話：03-3372-1506

### 日中友好後楽会

- ◆ 中国旅行

中国旅行の参加者は事務局を入れて計19名となりました。旅行後にご報告を掲載いたします。

日程：6月5日(火)～6月11日(月) 6泊7日  
行先：浙江省  
寧波・舟山諸島(普陀山)・紹興  
内容：

- 1日目：成田より全日空にて上海へ  
2日目：バスにて風情ある水郷のまち西塘へ。散策後、寧波へ  
3日目：寧波見学(天童寺、阿育王寺等)、舟山跨海橋を渡り 舟山諸島へ

- 4日目：終日、仏教4大聖地のひとつ普陀山を見学  
5日目：寧波へ移動。寧波市内見学(天一閣など)、夕刻紹興へ移動。  
6日目：紹興市内見学(魯迅ゆかりの三味書屋、咸亨酒店など)  
7日目：杭州へ移動、杭州空港より成田へ帰国。

※元後楽寮生との交流夕食会は紹興または寧波にて開催予定。

- ◆6月談話会・交流夕食会

今月は中国旅行があるため、定期談話会はお休みとします。7月の談話会予定は来月号にてお知らせいたします。

#### 【お申込み・お問合せ】

後楽会事務局 小林陽子  
電話：03-3811-5305 FAX：03-3811-5263  
メールアドレス：bunka@jfc.or.jp

## 活動記録

- ◆4月談話会



講師の常慶さん(右)と通訳の傅陽秋さん

4月19日、寮生の常慶さんを講師に迎え、「中国医学における保健と養生」をテーマに講義を行いました。常さんは無錫で医師

として勤務され、現在は東京大学大学院医学研究科にて細胞生物学を研究されています。中国医学は、西洋医学のように病気の箇所だけを診るのではなく、からだ全体のバランスを整える治療(養生)を行います。講義では、中国医学の基礎知識、生活の中での健康法、薬膳、季節ごとの養生の仕方などを分かりやすくお話いただきました。中国では、治療の際、西洋医学と中国医学を両方使うことがあるそうで、重症のガン患者が西洋医学の手術では治る見込みが無くなったときに中国医学(漢方薬)に切り替え、快方へ向かったという例を挙げ、参加者の皆さんは興味深く聴講されました。(後楽会事務局)

#### ◆小田原ホームステイ

ゴールデンウィークの間、私たち5人(崔信淑、李彦璋、張莉莉、安鋭堅、劉志)は、神奈川県小田原市の小嶋先生のお宅にホームステイに行き、日本の一般家庭の生活を体験させていただきました。短い3日間でしたが、5人とも心温まる貴重な体験をし、素晴らしい思い出をたくさん作って帰ってきました。

鴨宮駅の改札口で、作業服の姿でここにこしながら私たちを迎えてくださった小嶋先生は見ただけでも優しい感じの方でした。7時過ぎに小嶋先生宅に着いた時には、奥さんの手作りの夕食が既に食卓に並んでいました。おでん、いなり寿司、小鉢に入った野菜料理など、一見普通の家庭料理でしたが、実はお寿司に使ったお米から始まって、ほとんどすべての食材が小嶋先生の自家製であることを知り、感心しました。素朴な料理一つ一つに、実は小嶋先生夫婦の真心がこもっていたのです。夜は小嶋先生のお孫さんたちが集まってきて、みんなでトランプゲームをしたりしながら楽しく過ごしました。

翌日の5月3日は、小田原北条五大祭りの大パレードに参加させていただきました。手作り甲冑まで着て、イベントに参加させていただいたので、とても新鮮だったし、楽しかったです。私たちにイベントを思う存分楽しんでもらうために、小嶋先生夫妻は私たちの荷物を全部背負ったまま、パレードが終わるまでずっとついてくださいました。パレードが終わった後は、小田原市文化部や西湘日中友好協会の方々、そして関東学院大学の学生たちとも交流する機会がありましたので、非常に楽しく有意義な1日を過ごしました。



いざ出陣(右から2番目が筆者)

夜は、奥さんと一緒に可愛いお人形のついた箸袋を作りました。日本ではお正月など、めでたい日にはきれいな箸袋にお箸を入れて出すそうですが、私たちはきれいな折り紙と白紙でそれぞれ自分の好きな箸袋を作りました。

最後の日は尊徳記念館を見学し、お昼は皆で餃子を作りました。小嶋先生の家族やお孫さんたちの友達まで集まってきたので、本当に賑やかで楽しい日中食文化交流になりました。

午後、私たちは楽しい思い出いっぱい、別れを惜しみながら帰りの電車に乗りました。真の国際交流とは何かを改めて考えさせられたホームステイ体験でした。

(後楽寮生 崔信淑)

◆21世紀東アジア青少年大交流計画  
(日中21世紀交流事業)  
第4回諮問委員会を開催

4月25日、当公益財団にて、21世紀東アジア青少年大交流計画(日中21世紀交流事業)の第4回諮問委員会が開催された。

諮問委員会は、平成21年2月、当事業の適正かつ効果的な推進を図るため、外部からの視点を取り入れ、より良い交流事業を目指していくために設置された。委員は雨宮忠氏(元中央大学文学部特任教授)、石川好氏(酒田市美術館館長、作家)、高島肇久氏(株式会社日本国際放送特別専門委員)、高原明生氏(東京大学大学院法学政治学研究科教授)の4名で構成され、高島氏が座長を務めている。

これまで、事業実施にあたって委員各氏には、訪中団への参加や団員の推薦、訪日団の企画内容の助言のほか、中国高校生向けセミナー講師や、中国メディア関係者への基調講演など、多大な支援と協力をいただいた。また昨年8月には、ポスト JENESYS 事業の実現に向け、高島座長より「日中青少年事業への提言」もいただいた。

第4回諮問委員会には、諮問委員のほか、外務省から遠山茂・アジア大洋州局中国・モンゴル課地域調整官が、そして当公益財団からは谷野作太郎前副会長、小島義夫事務局長、王傑総合交流部長が出席した(村上立躬前理事長、武田勝年理事長は、同日午後開催されていた唐家璇中日友好協会会長の歓迎レセプション終了後、出席)。

委員会では、谷野前副会長と遠山調整官の挨拶の後、JENESYS 事業5年間の特筆事項や、平成19年度～23年度における交流事業全体の最終実績及び予算執行状況について報告がされた。また今年度、外務省が実施するアジア大洋州地域及び北米地域との青少年交流(キズナ強化プロジェクト)についての概要説明も行い、中国との交流

事業について引き続き、当公益財団が担当することが報告された。

委員からは、大きな事件、事故なく、5年間事業を実施してきたことに対する評価と共に、5年間の実績を、更に拡大、発展させられるような制度として継続できなかったことに対する厳しい指摘も受けた。他にもキズナ強化プロジェクトの交流内容についても、被災地を訪問することの意義について等、活発な意見交換が行われた。



意見を述べる諮問委員

委員会終了後は、会場を移し、総合交流部員を交えての懇親会を開催した。会は高島座長の乾杯で始まり、食事を取りながら総合交流部員一人ひとりが、JENESYS 事業を実施してきた感じたことや、思い出深いエピソード、また青少年交流に対する熱い思い等を発表した。

石川浩司・外務省アジア大洋州局中国・モンゴル課長も途中から参加され、日中青少年交流の重要性について語るなど、終始和やかな雰囲気となった。

(総合交流部)

## ご挨拶

### ◆村上立躬前理事長退任挨拶



1981年6月、(財)善隣学生会館参与に就任し、(財)日中友好会館創設にあたる事となりました。30億円の募金、70億円の借入等総額125億円の建設資金調達、自力更生による長期運営見通しの策定、既存建物テナント34社の立ち退き交渉等、何れも容易ならざる案件が山積する中、当時の事務局はこの難局に対応できるものではなく、その財源に併せ、外部に即戦力となる人材を求める他ありませんでした。大企業数社に有能な人材を手弁当で出向させて頂く様各社トップに直談判し、希望の適材10名を確保できた事により、この多難な事態にも拘らず作業を全うする事ができました。

私は事務局長として、当時政財官界を代表する理事の方々から全面的に事業推進を付託して頂きましたが、三菱銀行在籍のままである事について一部理事より不芳との声も頂き、1984年1月、会館に移籍しました。爾来、常務理事を11年、理事長を17年務め、懸案の公益財団法人への移行につき認可を得た2012年3月末を以って職を辞することと致しました。

この間、初代会長・古井喜実先生（1983～1994）をはじめ、後藤田正晴（1994～2002）、林義郎（2002～2009）、江田五月（2010～現在）の歴代会長には親しくご指導頂いた他、日中両国の各界各層の多くの方々から、温かいご支持、ご支援を賜り、過分のご厚情に感謝の念に堪えません。

善隣会館時代を含め、この30余年の間に日中双方の役員を務めて頂いた百余名の方々のご厚誼に深謝し、苦楽を共にした中国人職員60余名、並びに日本人職員100余名の全ての皆様に、心から御礼を申し上げます。

この会館の使命は、日中両国の友好交流の拠点である事です。

私は、この不変の志をこれまでと違った立場で見守り、心より常に応援してまいりたいと考えています。

## ◆ 武田勝年新理事長就任挨拶



本年4月1日、日中友好会館の公益財団法人への移行登記日を以って理事長を拝命致しました。私は、一昨年8月ご縁があって当会館での勤務を開始しました。民間会社に居た私にとって戸惑うことの多い毎日でしたが、江田会長、谷野副会長、村上理事長他の方々のご指導と職員各位の理解と協力を得て、内外の業務に対応し、公益法人への移行認定も取得することができました。

理事長に就任したからと言って、会館運営の方針や日常業務への取組み姿勢が変わるわけではありませんが、この機会に私の考えをご説明したいと思います。

- (1) 当会館の存在意義は、日中両国国民の間の相互理解と相互信頼を促進し、両国間の安定した友好関係の基礎作りをすることにあります。両国間で時には多少の波風が立つことは当然ありますが、広範な国民レベルでの信頼感を醸成し、一つ一つ乗り越えて行かなければなりません。その為に微力ながら努力を致します。
- (2) 公益事業の4本柱、青少年交流、留学生事業（後楽寮）、文化事業及び中国語教育（日中学院）は、従来の基礎の上に創意と工夫を加えて更に充実、発展させて行きます。会員相互友好事業である日中友好後楽会もしっかりと継続します。
- (3) 当会館設立の経緯に鑑み、中国政府及び在日華僑と緊密に意思疎通を図ることが肝要であり、その提案、助言を活かし、十分連携をとって会館を運営します。
- (4) 会館業務推進の原動力は、若く優秀な職員であります。会館職員が、楽しく働き、持てる能力を存分に発揮できる環境の整備に努めます。今後、職員が業務を通じて成長し、付加価値を高めることができれば素晴らしいと思います。職員の皆さんが、大いに学習し大局観を持って業務に取り組むことを期待しています。
- (5) 当会館は、政府からの補助金は一切ありません。ビル・ホテル運営の収益を確実に確保し、経費管理に努める必要があります。昨年度は、ESCOを活用して老朽化した空調・熱源設備を更新し、相当額の経費節減を実現しました。今後も堅実な運営に努めます。

今後とも、多くの友人、関係者の皆様のご指導、ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

## 会館行事と人の動き 4/1～30

### ● 会館行事

- 4/ 3～4/8 □ 日中水墨画研究会作品展
- 4/ 5 □ 日中学院入学式(武田理事長、王理事)
- 4/ 9 □ 中国文化部 蔡武部長歓迎レセプション(4/10歓迎夕食会)
- 4/19 □ 後楽会気功・中国画教室、後楽会談話会「中国医学の保健と養生」講師:常慶
- 4/23 □ 第1回評議員会
- 4/25 □ 中日友好協会 唐家璇会長歓迎レセプション(江田会長、村上前理事長、武田理事長、王理事)
  - 21世紀東アジア青少年大交流計画(日中21世紀交流事業)第4回諮問委員会、懇親会
- 4/25～4/29 □ 重慶伝統書画藝術品展

### ● 来館・訪問・面会

- 4/ 2 □ 榊中央商会 平戸社長来館(村上前理事長、武田理事長)
- 4/10 □ 林前会長往訪(村上前理事長、武田理事長)
- 4/12 □ (公社)日中友好協会 高野倉事務局長来館(武田理事長、王理事他)
- 4/16 □ 江田会長往訪(武田理事長)
- 4/17 □ 中国美術家協会代表団来館(村上前理事長、武田理事長他)

### ● 行事参加、その他の活動

- 4/ 8 □ 千代田区日中友好協会花見交流会(後楽寮生)
- 4/13 □ 「中国貴州ろうけつ染め展」山梨巡回展開幕式、製作実演(於:山梨県身延みかとも現代工芸館)
- 4/18 □ 後藤田正純議員を励ます会(武田理事長)
- 4/26 □ 留団協定例会議(於:日本力行会、留学生事業部)